

今年七月、参議院選挙で初めて十八歳と十九歳のおよそ二百四十万人に選挙権が与えられた。私はこの機会に、実際に選挙の流れを見て政治に関心を持ちたいと思い、立会人として参加させていただいた。立会人の主な仕事は、投票が公正に行われているか監視することだ。

当日午前七時から投票開始になった。投票箱の中に何も入っていないか、鍵を閉めているかなど、私たち立会人と、管理者、投票に来た先着5名の方と一緒に厳重に確認した。朝早い時間にも関わらず、五人以上の方が投票に来ていたので驚いた。私の投票場は特に有権者が多かったため、ほとんど途絶えることなく投票に来ていた。

私も実際に投票した。初めてのことで少し緊張したけど、学校で選挙の流れを教わったり、投票場では道に沿って矢印があったため、正しく投票することができた。候補者の氏名が書かれていた紙が貼ってあったが、その紙を見ても誰がどのような政治をしていくのかわからなかった。私は初めてのことで候補者のことがわからなかったので、前もって候補者の公約を見て誰にするか決めていた。その場で迷うことなく投票できたため、あらためて前もって考えることが必要だと感じた。また、私の同級生や十九歳の先輩が投票に来た。現在、若い人の投票率が低いと聞いていたため、とても嬉しかった。

期日前投票や、入院していて病院で書いて投票用紙を送っている人もいた。また、海外にいても投票できることを知った。私が住んでいる所でも、海外から投票している人がいたので驚いた。その投票用紙は、厳重に封筒に入れられていて、私を含め数人で不正なく投票されているか確認した。また、車いすで投票場に来ている方もいた。そういう人たちは、二人の管理者が投票の手伝いをした。遠いところから投票したり、投票場に行くのが困難な方でも投票しているので、特に若い人たちに有権者としての自覚を持ってほしいなと思った。

複数の人で確認をしたり、監視をするほど一票が重要だと感じ、あらためて選挙の大切さを知った。しかし、今回の投票率は五四．七％で、約半分の人が投票に行っていなかった。前回の参議院選挙より少し上回ったが、まだ約半分の人が投票権を無駄にしている。特に若い人たちは、初めての選挙でとまどったり、選挙に関心がないかもしれない。けれども、次に国の在り方を決めるのは若い人たちだ。だから、この機会にぜひ選挙に関心を持ち、次回の選挙から多くの方に投票してほしい。私は一日選挙の流れを見ていたので、選挙だけでなく、政治も関心を持つことができた。次回の選挙でも、政治のことをより詳しく知った上で、選挙に行きたい。